



「クルマ好き高校生よ、心のエンジンに点火して 24分先のゴールをめざせ!」

23th High-School ZEROHAN CAR 24min.Endurance Race



第23回全日本高等学校ゼロハンカー大会

24分耐久レース 大会要項



ジュニアマイスター顕彰制度
優勝4点、入賞（2位～6位）1点

会場:岡山県浅口市寄島町 三ツ山スポーツ公園 新多目的広場

主催 全国自動車教育研究会 西日本地区
後援 国土交通省 国土交通省中国運輸局 浅口市 岡山県教育委員会 浅口市教育委員会
(申請中含む) 一般社団法人日本自動車整備振興会連合会 一般社団法人岡山県自動車整備振興会
一般社団法人日本自動車販売協会連合会岡山県支部 岡山県自動車整備商工組合
岡山県軽自動車協会 RSK山陽放送 全国自動車大学校・整備専門学校協会JAMCA

お問合せ 全日本高等学校ゼロハンカー大会事務局 主管校 おかやま山陽高等学校 自動車科
〒719-0252 岡山県浅口市鴨方町六条院中2069 TEL 0865-44-3100 FAX 0865-44-6626

「この大会は、ものづくりの一環として同じレギュレーションに基づき、
創意工夫した自作の車両で完成度を競う競技会である。」

ご挨拶

参加校の皆様へ

全日本高等学校ゼロハンカー大会
会長 原田 一成
(主管校 おかやま山陽高等学校長)

全国から参集された選手の皆さん、引率の先生方、保護者の皆様「第23回全日本高等学校ゼロハンカー大会24分耐久レース」によるご越しくございました。

この大会は、車が大好きな高校生の熱い魂を完全燃焼できる場がほしいと願う、多くの熱心な方々のご努力により誕生しました。本大会が、多くの方々のご協力により、今年も盛大に開催できることに、主催者の一人として、心から感謝申し上げます。

わが国で若者が車に興味を持たなくなったといわれ始めて久しくなります。そして現在では、車の販売台数の低迷にとどまらず、車を安全な状態に維持・整備するために必須の整備士までもが不足するという状態にまで陥りつつあります。しかし、我々はもはや車なしで社会生活を送ることはできません。

今日ここに集まってくれている高校生諸君、皆さんは、何よりも車が好きで、その多くが、将来は車にかかわる仕事に就きたいと願っていると思います。この国の車社会の未来は、皆さんの双肩にかかっています。いうなれば、皆さんは、日本社会にとって、大切な「金の卵」です。

不確定な状況の中、開催の可能性を信じて車体製作に取り組んできた経験は、皆さんにとって何よりの財産となると思います。今大会への出場を通じて、みなさん自身のモチベーションがさらに高められることをなによりも願います。そして同時に、そんな皆さんの姿を見て、さらに多くの若者が車に興味を持ち、より積極的に車にかかわってくれるようになることを、切に願っています。

選手諸君は今日まで、多くの時間と労力をかけて、大切なマシンを作り上げてきたことと思います。その努力と情熱にお互いに敬意を持ち、ルールを厳守し、フェアでクリーンなレースを繰り広げてくれることを願います。

最後になりましたが、本大会がますます発展し、より良い形で継続することができますよう、ご来賓、スタッフ関係者の皆様方のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



ゼロハンカーとは

自作のフレームに、総排気量50cc未満のエンジンを搭載して、ダート走行可能なサスペンションを備えている車両のことです。

課題研究という授業や放課後の部活動など各校取り組み方は様々ですが、溶接や旋盤などの機械加工、自動車の基礎的な構造、ものづくりの楽しさ、仲間との協調性の大切さなどを体験できる、大変有意義な取り組みです。

ゼロハンカー大会の歴史 since2003

2003年(平成15年)、全国自動車教育研究会西日本地区が主催し、おかやま山陽高校を主管校として、12月21日岡山県北房郡にて第1回大会が11校20台の参加で開催されました。第4回大会より会場を岡山県倉敷市「高梁川河川敷グラウンド」に移し、参加校および参加台数も順調に推移していきました。



第8回大会から第10回大会にかけて環境問題を意識し、これまで主流であった2サイクルエンジンから、より環境負荷の小さい4サイクルエンジンに移行しました。2021年(令和4年)記念すべき第20回記念大会が行われ、東は三重県、南は鹿児島県より26校61台のエントリーがあり、岡山県の伊原木県知事を開会式にお迎えし、盛大に開催されました。



ゼロハンカー大会 当日の流れ

受付・車検	開会式	一次予選	二次予選	敗者復活戦	三次予選	決勝	表彰・閉会式
ゼッケン番号の抽選。車検では安全面を中心に車両規定に適合するか検査をします	校名プラカードの後ろに整列し、選手宣誓や優勝トロフィー返還等を行います	2台同時スタートで直線100mのドラッグレースでタイムを計測します	4～5台でコースの周回レースを行い、上位2台が三次予選に進出します	4～5台でコースの周回レースを行い、上位2台が三次予選に進出します	4～5台でコースの周回レースを行い、上位1台(計10台)のみ決勝に進出します	24分間の耐久レースで周回数を競います。途中ピットインの義務があります	上位6台が表彰されます。優勝は約170cmの巨大トロフィーが授与されます

開催要項

大会名称	第23回 全日本高等学校ゼロハンカー大会 24分耐久レース
期 日	令和7年12月20日(土)～12月21日(日)
会 場	岡山県浅口市寄島町「三ツ山スポーツ公園・新多目的広場」
主 催	全国自動車教育研究会 西日本地区
共 催	岡山県高等学校工業教育協会
後 援 (予定・申請中を含む)	国土交通省 国土交通省中国運輸局 一般社団法人日本自動車整備振興会連合会 一般社団法人岡山県自動車整備振興会 一般社団法人日本自動車販売協会連合会岡山県支部 岡山県自動車整備商工組合 岡山県軽自動車協会 RSK山陽放送 浅口市 岡山県教育委員会 浅口市教育委員会 全国自動車大学校・整備専門学校協会JAMCA
特別賛同企業	新興工業株式会社 ヤマシン技研株式会社 有限会社カタヤマレーシング
主管校	おかやま山陽高等学校
参加受付 エントリー期間	参加料と別紙「参加申込書および保険加入申込書」を現金書留にて、エントリー期間内に大会事務局まで郵送してください。 令和7年11月1日(土)～11月30日(日) 当日消印有効
受付・車検	令和7年12月20日(土) 13:00 ～ 17:00 令和7年12月21日(日) 7:30 ～ 8:00 ※当日は日程がタイトなため、なるべく前日に受付・車検を済ませてください
参加費用	5,000円/台および保険料(運転者3,000円/人:参加者・観戦者300円/人)
大会役員	会 長 原田 一成 (主管校/おかやま山陽高等学校長) 副会長 安藤 正道 (全国自動車教育研究会 西日本支部長/岡山商科大学附属高等学校長) 高林 康徳 (岡山県高等学校工業教育協会 機械系部会長/岡山県立津山工業高等学校長) 大会委員長 笹田 竜司 (主管校/おかやま山陽高等学校 教頭) 大会副委員長 洲脇 康人 (岡山県高等学校工業教育協会 機械系部会主任/岡山県立岡山工業高等学校) 平尾 暢啓 (岡山県高等学校工業教育協会 機械系部会副主任/岡山県立笠岡工業高等学校) 競技委員長 千田 泰志 (全日本手作りゼロハンカーレース選手会) 競技副委員長 蜂谷 和久 (岡山県高等学校工業教育協会/岡山商科大学附属高等学校) 実行委員長 森 秀樹 (岡山県高等学校工業教育協会/おかやま山陽高等学校) 実行委員 各校引率者 運営スタッフ 岡山自動車大学校 テクニカル・サポーター 他
大会事務局	全日本高等学校ゼロハンカー大会 事務局 〒719-0252 岡山県浅口市鴨方町六条院中2069 おかやま山陽高等学校 自動車科 内 森 秀樹(もり ひでき) Tel:0865-44-3100 Fax:0865-44-6626 Eメール: info@okayama-sanyo-hs.ed.jp
公式ホームページ	「全日本高等学校ゼロハンカー大会オフィシャルサイト」 https://hs-zerohancar.com/

競技規則

本大会の参加者は、本規定を理解した上で、これを遵守することに同意したものとする。

※ 参加台数の関係により、競技内容の一部を変更する場合がありますので、ご了承下さい。

1. 競技方法

一次予選「ドラッグレース」直線100m区間のタイム計測

ゼッケン番号順に2台ずつ、指定された直線を走行し、タイム計測を行う。その時のラップタイムを、二次予選以降の組み合わせの基準とする。

完走できなかった場合は、二次予選組み合わせの最下位とする。ただし、複数いる場合はじゃんけんにて順位決めを行う

二次予選 及び 敗者復活戦「周回レース」2周レース(予定)

所定のコースを2周し、その時の着順にて成績を決定する。

チェッカー・フラッグが振られて、2分以内にゴールラインを通過しなければリタイヤとする。

三次予選「周回レース」2周レース(予定)

所定のコースを2周し、その時の着順にて成績を決定する。

チェッカー・フラッグが振られて、2分以内にゴールラインを通過しなければリタイヤとする。

決勝「24分耐久レース」周回レース ピットイン有り

所定のコースを24分間走行し、チェッカー・フラッグが振られて3分以内にゴールラインを通過する。その時の周回数(周回数が同じなら先にチェッカー・フラッグを受けた順)にて成績を決定する。

また、3分以内にチェッカーを受けなければリタイヤとする。

①スタート方法 「ローリング・スタート」

スタートは、先導車に続いてコースを1周(フォーメーションラップ)し、先頭車両がスタートラインを通過した時より24分間の計測を開始する。このフォーメーションラップ中は前の車両を追い越しや、著しく隊列を乱してはならない。

また、スタート出来ない場合や、オープニングラップ途中で前の車両との間隔が10m以上開いた場合は大きく手を振って合図し、後続車の妨げにならないようにコースを譲ること。

著しく隊列を乱す行為があった場合は「再スタート」とし、行為があった車両は最後尾に着くこと。

②ピット・ストップ 「30秒間」

決勝レース中、燃料補給や整備の有無に関わらず、1回以上ピットインし、30秒間以上ピット前で車両を停止させること。ピットレーン(コース～ピット間)は必ずエンジンを停止した状態で、押して移動すること。このときは、ピットクルーが車両を押すこと。

コースインする場合は、エンジン始動位置まで車両を押して移動し、エンジン始動後、オフィシャルの指示(グリーン・フラッグ)に従い、コースインすること。

ピットインが一度もなかった場合は、周回数10周減のパナルティとする。

③ゴール

スタートより24分間経過後にゴールラインを通過し、チェッカー・フラッグを受けた車両は、「車両停止位置」に停車させ、エンジンを停止し、車両を押し移動すること。

※車両停止位置で止まらなかったり、エンジンを停止せずに通過したものは失格とする

※決勝レース上位3台は、レース終了後すみやかに本部テント前に移動し、エンジン排気量の測定のために、シリンダ・ヘッドを開けること

2. 走行について

- ① ドライバーは必ず、ドライバーズ・ミーティングに参加すること
- ② 無理な追い越しや、悪質な進路妨害、パイロンをむやみに倒しながらの走行は危険走行とみなし、失格の対象とする
- ③ いかなる場合もコースの逆走行やショートカットをしてはならない
- ④ 競技途中で故障などで停止する場合は、他車走行の障害にならないようにコース外に停車(この場合はパイロンを倒しても良い)させること
- ⑤ 競技時間内に再度、走行する場合はコースオフィシャルの指示に従いコースに戻る。ただし、エンジンの再始動は、ドライバー本人が行い、コースオフィシャルに手伝わしてはならない
- ⑥ ドライバーおよびオフィシャルを除き、レース中停止した競技車両に触れることはできない。触れた場合はリタイヤとみなす

3. フラッグ(信号旗)について

①グリーン・フラッグ (青旗)

「24分耐久レース」中、ピットからコースインする時は、この旗の合図でコースインすること

②イエロー・フラッグ (黄旗)

コースオフィシャルが持っている旗。コース前方に故障車などがある場合など、走行に注意が必要な時に振られる

この旗が振られている場所から、故障車を通り過ぎるまでの区間は追い越し禁止区間となる。事故やペナルティにもなるので見落とさないように走行すること

③チェッカー・フラッグ

指定周回数または指定時間経過後に振られる旗で、この旗を受けた車両はレースを終了すること

④レッド・フラッグ (赤旗)

ゴール後、車両停止位置で振られる旗。この旗の位置で車両を止めて、エンジンも停止すること。

停止線で止まらなければ「失格」となる。また、多重事故などによりレース続行不可能となる場合は、レース中断の合図としても振られる

⑤ブラックフラッグ (黒旗)

重大な違反やレース運営に悪影響があると判断された場合に振られる。速やかに減速してコース外の安全な場所に停車させること

4. ペナルティについて

失格となるペナルティ(予選～決勝)

- ① 大会委員、コースオフィシャルなどの指示に従わないとき
- ② フラッグ(信号旗)を守らないとき
- ③ 危険走行(無理な追い越しや逆走、悪質な進路妨害などほかの競技者に害を及ぼす行為)
- ④ 車両停止線オーバー
- ⑤ 2回以上のフライングスタート
- ⑥ 排気量オーバーなどの車両規則違反
- ⑦ 車両から、部品などの脱落

決勝(24分耐久レース)において、周回数10周減となるペナルティ

- ① 一度もピットインしない場合や、30秒間の停車時間を守らなかったとき
- ② ピットロードのエンジン停止および始動位置を守らなかったとき
- ③ ピットレーン内の指定された位置(各校ピット用テント前)以外での給油、整備などを行ったとき

5. コースオフィシャルについて

安全かつ公平に大会を運営するために、各校 生徒1名以上、教員は可能な限りコースオフィシャルとして参加すること。

また、予選敗退の時には、教員は原則として、コースオフィシャルに参加すること。

コースオフィシャルは、開会式後のミーティングに参加し、レースの運営を行うこと。

6. 規定の改正または変更について

本大会の大会役員は協議により、本規定を改正または変更することができる。

本規定に定められていない事項あるいは明記されていない事項については、大会役員が協議し、委員長が最終的な決定を下すものとする。

7. 異議申し立てについて

- 1) 異議申し立てを行う場合は、異議申し立ての対象となる事態の発生から20分以内に、書面にて各チームの代表者が提出しなければならない。
- 2) コース設定、競技内容、パイロンタッチの判定などに関する異議申し立ては受け付けない。
- 3) 大会審査委員会(大会役員により構成)の裁定結果は、関係当事者にのみ口頭で通知する。

8. 競技車両の識別(ゼッケン)について

各チームに割り当てられるゼッケン(受付時に配布)を、競技車両の両側面に識別しやすいように貼り付けなければならない。車両ごとにゼッケン(A3サイズ)の貼り付け場所を確保しておくこと。(車両規定「ゼッケン」項目参照)

9. 保険加入について

参加チームメンバーは、本大会に関し所定の損害保険に加入しなければならない。主催者、大会役員および主管校が一切の損害補償の責任を免除されていることを承知しなければならない。

また、保険適用の可能性が考えられる事由が発生した場合は、発生時刻より20分以内に本部まで連絡すること。

10. 車検について

車両規定を満たさない場合および車検を受けていないものについては本大会への出場を認めない。

車検は、引率教員同伴で、ドライバー本人が行うこと。ドライバーはレース走行できる服装で、学生証、救急箱および消火器を持参のうえ、車検を受けること。

11. 後車検(決勝24分耐久レースの上位3台)について

決勝レース終了後、上位3台の車両は、エンジン排気量の測定を行う。

指定された場所に移動し、チームは速やかにシリンダ・ヘッドを外し、ボア×ストロークの計測に備えること。

12. 大会・競技の中止について

大会委員長が強風、豪雨、落雷などで大会および競技の開催または続行が不可能と判断した場合は、競技を中止することがある。

13. ピットエリアへの立ち入りについて

安全の確保及びレースの公正をきすため、レース中のピットへの立ち入りはチーム関係者のみとする。

レース保険未加入(加入者はIDタグを見えやすい様にしておく)していない卒業生や保護者等はピット内への立ち入りを禁ずる。

テレビ番組制作会社より参加校へのお願い

1. ヘルメットのシールドを透明なものにしてもらいたい
スモークやミラーだとレース中のドライバーの表情が見えないため、透明度の高いものにして欲しいとのことです。
数が揃わなければ、各チームで速い車両優先で、決勝はラストでお願いします。



NG：表情が見えない

2. GoProを取り付けられるように、取り付け場所を作って欲しい



○印の設置場所で、ドライバーの表情などを撮影したいとのことです。

GoPro取付用の台

これらは決して強制ではありませんが、熱心に取り組む高校生の姿を多くの方にアピールできる絶好の機会と考えています。大会の継続・発展のため、参加校の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

車両規定

引率教員同伴のもと、受付後に「車検」を行い、下記の車両規則に満たないものは、出場を認めない。ただし、車検可能時間内であれば、再車検を認める。

車検は、該当車両のドライバーが運転席に着席した状態で行うこと(学生証にて本人確認を行う)

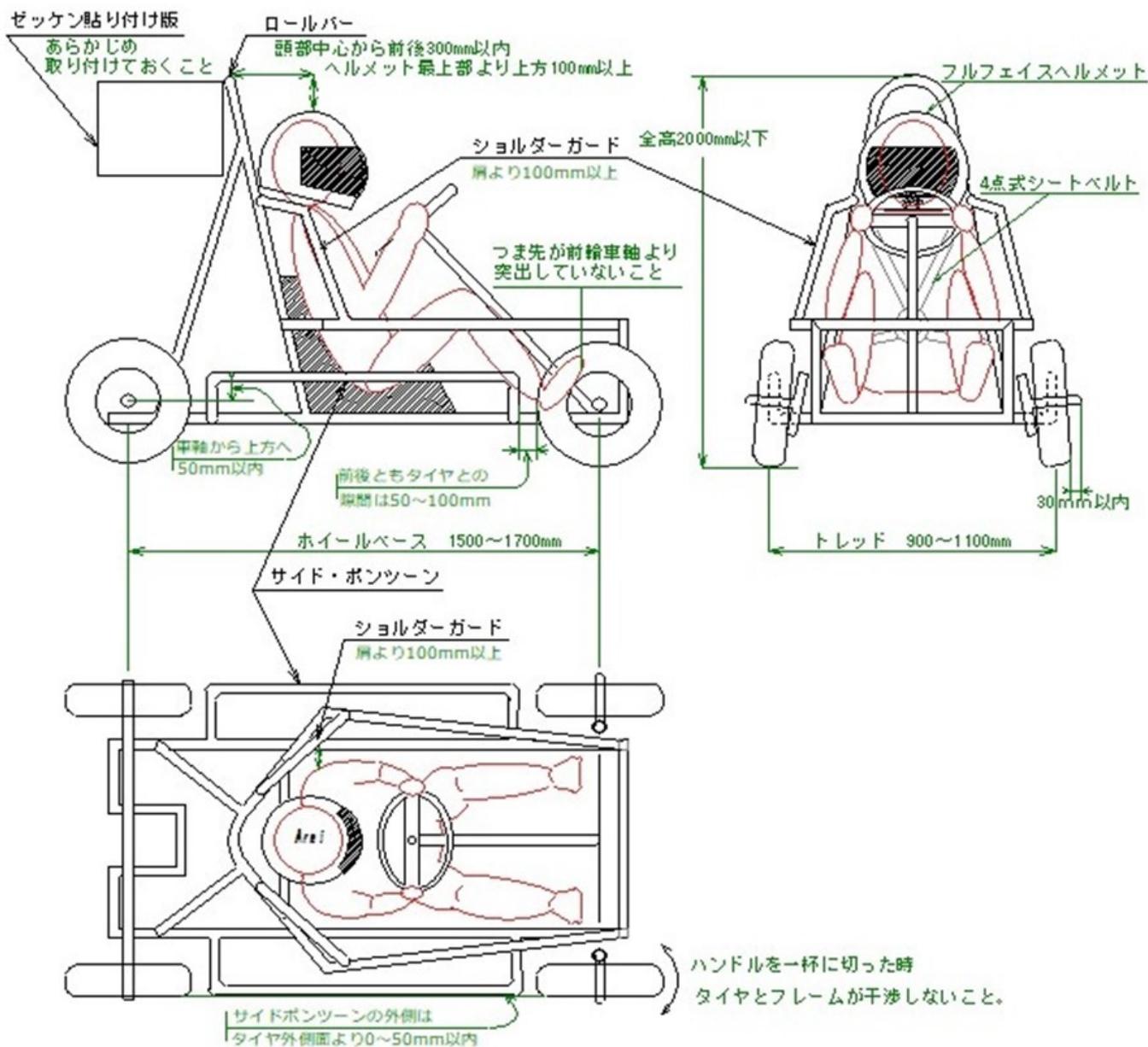
車検項目:車両、ヘルメット、グローブ、消火器、救急箱、学生証(ドライバーのもの)

車検に合格した車両は「ゼッケン」を配布し、車両に貼り付けた状態でフリー走行を行うことができる。

車両サイズ	<p>ハンドル直進状態において運転者が乗車した状態で、以下のとおりとする。</p> <p>(1) ホイールベース 1500 ~ 1700 mm</p> <p>(2) トレッド 900 ~ 1100 mm</p> <p>(3) 全高 2000 mm以下</p>
フレーム	<p>フレームは全て手作りとする。部分的であってもカート用のフレーム等を使用してはならない。かつ、車体の強度が十分であり、運転者の安全を確保できる構造であること。</p> <p>運転操作時、いかなる場合も前軸、および後軸より身体の一部でもはみ出さないこと。</p> <p>(例)ペダル踏み込み時、つま先がはみ出さないこと。フロアより地面側へ容易に足が落ちないような構造であること。</p> <p>※直径20mm以上の金属パイプが望ましい。</p>
ヘッド・ガード (ロールバー)	<p>フレームに溶接で強固に固定され、万一の転倒時に十分な強度があるものとする。</p> <p>ドライバーが着座した状態で身体より、100mm以上の空間を有し、かつ、頭部の中心から前後300mm以内の位置に設置されていること。</p> <p>※直径20mm以上の金属パイプが望ましい。</p>
サイド・ガード (サイドポンツーン)	<p>フレームに溶接で強固に固定され、万一の転倒時や車両同士の接触時に十分な強度があるものとする。</p> <p>タイヤ外側面より内側 0~50mm、前後車輪との間隔各 50~100mm、車軸から上方 0~50mmの位置で車体両サイドに保護ガードを備えること。(12ページ車両レイアウト図参照)</p> <p>※直径20mm以上の金属パイプが望ましい。</p>
ショルダー・ガード	<p>フレームに溶接で強固に固定され、万一の転倒時に十分な強度があるものとする。</p> <p>車体両サイドに保護ガードを備えること。(運転者の肩幅より、左右それぞれ100mm以上離して設置すること。)</p> <p>※直径20mm以上の金属パイプが望ましい。</p>
エンジン	<p>4サイクル・エンジンを使用し、総排気量は 50 cc 未満で、メーカーの刻印を有していること。ゼロハンカーの動力源は、エンジンの動力のみとする。</p> <p>吸排気装置、燃料装置の改造および変更は自由とするが、加給機の取り付けや、シリンダ、コンロッドなどの変更による排気量アップは違反とする。</p> <p>弁開閉機構のカムシャフトは、1本(SOHC)であること。</p> <p>エンジンから排出されるブローバイガスは、必ず吸気側に戻し、大気放出させない構造であること。</p>

トランスミッション	改造および変更は自由とするが、容易に壊れない構造とすること。
電気回路開閉装置 (キルスイッチ)	エンジンの停止ができるように、運転席に着座した状態で、容易に操作できる電気回路開閉装置(キルスイッチ)を備えていること。
マフラー	消音効果が得られるサイレンサー(消音器)を備えていること。また、競技中、騒音が著しく大きく、消音効果が認められない場合は、出場停止もありうる。 直管構造でないこと。
ホイール、タイヤ	4輪であること。サイズの変更は自由とするが、スパイクタイヤは禁止とする ハンドルを一杯に切ったときに、タイヤがフレームやサスペンション・アーム等と干渉しない構造であること。
ハンドル	丸型ハンドルで、操作が容易に行えること。溶接またはボルト締めされ、容易に取り外せないこと。
ブレーキ	同時に2輪以上作動し、十分な制動力が得られること。 走行中、制動操作が容易に出来ること。
燃料	市販のガソリン(レギュラーまたはハイオク)とし、各校持参すること。
燃料タンク	十分な耐油性を具備し、容易に燃料が漏れ出さないこと。取り付け位置は、排気管の上部を避けること。 樹脂製のタンクを使用する場合は、転倒時に燃料タンクが破損しないように、金属製の囲いを設けること。
シートベルト	4点式以上のものを備え、取り付けが強固であること。 ただし、3点式を使用する時は2個使用し、たすき掛けになるように配置すること。
ミラー	左右いずれか若しくは両側に備えられ、後方の車両が確認できること。 鏡面に透明なテープなどで飛散防止対策を施すこと。
手袋	不燃性の材質で、手首まで完全に覆うものを使用すること。 (軍手など燃えやすい材質のものは使用不可とする。)
服装	長袖、長ズボンで、袖や裾などが回転物などに巻き込まれる恐れが無いもの。 マフラー、サンダル、靴の不着用、足袋など怪我のおそれがあるものは不可とする。
ゼッケン	ロールバー上部後方に、左右側面から容易に確認可能な場所にゼッケンを貼り付ける場所を確保すること。 ゼッケンは走行中、脱落や回転しないように固定すること。 ゼッケンサイズはA3用紙のサイズ(約297mm×420mm)程度である。
配線類	電気配線および燃料ホースなどは、容易に外れないようにテープや結束バンドなどで、フレームに固定されていること。
泥除け(任意)	車両に泥除けを装備する場合は、難燃材を使用し、タイヤなど、回転、移動部分に干渉せず、他車との接触や走行の妨げにならない構造とすること。 (ダンボール、厚紙などの燃えやすい材質のものは使用不可とする。)

車両レイアウト図



レース保険の加入について

大会の安全に関しましては大会規則の遵守等、皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。

競技車両の走行に関わる事故が発生した場合の補償は原因者の負担となります。

そこで、万一に備えて必ず保険に加入してください。

同封の「参加申込書及び保険加入申込書」に必要事項を記載の上、大会参加費とともに現金書留にて、大会事務局まで申し込みをしてください。

- 競技車両の保険は、競技車両1台ごとに加入してください
- 保険適用の可能性が考えられる事由が発生した場合は、その発生時刻より20分以内に本部まで連絡してください
- ドライバーは、『ドライバーの保険』に加入するため、『参加者の保険(一人300円)』の加入は不要です

全日本高等学校ゼロハンカー大会記録 第1回(2003年)～第22回(2024年)

第1回 平成15年12月21日(ハイスターランド有漢) 参加:11校20台			第12回 平成26年12月21日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:22校42台		
優勝	広島県立広島工業高等学校	県工ブルーインパルス	優勝	香川県立 多度津高等学校	MB TAKOU YELLOW
第2位	奈良大学附属高等学校	M1	第2位	岡山理科大学附属高等学校	理大附属 1号
第3位	福岡市立博多工業高等学校	サンダーバード1号	第3位	広島県立 福山工業高等学校	福工 躍進
第2回 平成16年12月23日(みろくの里グラウンド) 参加:11校18台			第13回 平成27年12月20日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:22校46台		
優勝	広島県立広島工業高等学校	県工ブルーインパルス	優勝	おかやま山陽高等学校	山陽SPEED 2号
第2位	岡山商科大学附属高等学校	ラーズグリーズ	第2位	北陵高等学校(佐賀県)	北陵 3号
第3位	該当なし	該当なし	第3位	岡山理科大学附属高等学校	理大附属 2号
敢闘賞	広島県立三次青陵高等学校		第14回 平成28年12月18日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:23校47台		
第3回 平成17年12月27日(みろくの里グラウンド) 参加:10校18台			優勝	岡山県立東岡山工業高等学校	東岡工場-ミワ
優勝	福岡市立博多工業高等学校	ARROW	第2位	岡山県立興陽高等学校	興陽将生くんMK2
第2位	広島県立呉工業高等学校	KMC3号	第3位	おかやま山陽高等学校	山陽SPEED1号
第3位	広島県尾道高等学校	エクリプス2	第15回 平成29年12月24日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:27校51台		
第4回 平成18年12月27日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:9校21台			優勝	岡山県立興陽高等学校	興陽百式号
優勝	岡山県立笠岡工業高等学校	シライシ50RS	第2位	広島県立神辺高等学校	神辺N.R.T
第2位	福岡市立博多工業高等学校	博多参考青式	第3位	岡山理科大学附属高等学校	理大附属2号
第3位	岡山理科大学附属高等学校	理大1号	第16回 平成30年12月25日(三ツ山スポーツ公園) 参加:28校57台		
第5回 平成19年12月23日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:14校28台			優勝	岡山県立興陽高等学校	興陽羅王還暦号
優勝	岡山県立東岡山工業高等学校	橘花	第2位	広島県立神辺高等学校	神辺 N.R.T II
第2位	岡山県立東岡山工業高等学校	HR06改	第3位	おかやま山陽高等学校	山陽SPEED 1号
第3位	広島県立三次青陵高等学校	みどりヶ丘VI	第17回 令和元年12月26日(三ツ山スポーツ公園) 参加:27校55台		
第6回 平成20年12月23日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:15校34台			優勝	岡山県立笠岡工業高等学校	笠工ぶんぶん丸
優勝	岡山県立東岡山工業高等学校	FREEDOM	第2位	岡山県立水島工業高等学校	水工悪魔のZ
第2位	岡山理科大学附属高等学校	理大附2号	第3位	鹿児島情報高等学校	鹿児島情報 勲斗雲
第3位	岡山理科大学附属高等学校	理大附4号	第18回 令和2年12月27日(三ツ山スポーツ公園) 参加:27校55台		
第7回 平成21年12月20日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:15校38台			優勝	おかやま山陽高等学校	山陽SPEED1号
優勝	岡山理科大学附属高等学校	理大附属1号	第2位	岡山県立笠岡工業高等学校	笠工 突風丸
第2位	岡山県立興陽高等学校	KOYOよもだ零号機	第3位	岡山県立興陽高等学校	興陽羅王還暦号
第3位	岡山県立興陽高等学校	KOYOよもだ初号機	第19回 令和3年12月26日(三ツ山スポーツ公園) 参加:26校62台		
第8回 平成22年12月19日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:17校42台			優勝	おかやま山陽高等学校	山陽SPEED1号
4サイ 優勝	岡山県立東岡山工業高等学校	東岡工HR06	第2位	三重県立四日市工業高等学校	四工HHS
4サイ 第2位	福岡市立博多工業高等学校	博工 壱号	第3位	三重県立津工業高等学校	津工業T-two号
4サイ 第3位	岡山県立岡山工業高等学校	OKAKO 1号	第20回 令和4年12月25日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:26校61台		
2サイ 優勝	岡山県立勝間田高等学校	勝間田タマちゃん	優勝	広島県立神辺高等学校	神辺F.F.G
2サイ 第2位	岡山県立東岡山工業高等学校	2サイ 第2位	第2位	三重県立津工業高等学校	TSUTECH Mad Buggy
2サイ 特別賞	呉港高等学校	呉港 信玄	第3位	三重県立津工業高等学校	津工業R1-K
第9回 平成23年12月25日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:17校42台			第21回 令和5年12月24日(三ツ山スポーツ公園) 参加:30校64台		
4サイ 優勝	岡山県立勝間田高等学校	勝間田トシちゃん	優勝	おかやま山陽高等学校	Sanyo Speed 1号
4サイ 第2位	岡山県立岡山工業高等学校	OKAKO 2号	第2位	岡山県立東岡山工業高等学校	TeamTOKO アップグレードレーシング
4サイ 第3位	岡山県立東岡山工業高等学校	東岡工 HR11	第3位	三重県立四日市工業高等学校	四工の36
第10回 平成24年12月25日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:18校37台			第22回 令和6年12月22日(三ツ山スポーツ公園) 参加:30校72台		
優勝	おかやま山陽高等学校	山陽桃太郎01	優勝	岡山県立東岡山工業高等学校	東工SZ Racing はるくん号
第2位	岡山県立勝間田高等学校	勝間田トシちゃん	第2位	岡山県立興陽高等学校	興陽羅王号
第3位	岡山県立東岡山工業高等学校	東岡工 HR11	第3位	岡山県立興陽高等学校	興陽羅王還暦号SP
第11回 平成25年12月22日(高梁川河川敷グラウンド) 参加:18校40台					
優勝	岡山県立岡山工業高等学校	OKAKO3号			
第2位	おかやま山陽高等学校	山陽桃太郎1号			
第3位	三重県立桑名工業高等学校	桑工 3rd			

会場案内地図



会場周辺地図



アクセス方法

山陽自動車道 「鴨方IC」より

料金所を出てすぐ、突き当りを左折 県道155線を進む
 最初の交差点で右折(正面にセブンイレブン)
 約800m先、突き当りの信号を左折(正面にメガネの三城)
 県道64号線を約1.2km進み、突き当りの信号を左折(天満屋とダイハツの間)
 すぐ次の国道2号線の信号を左折(左手にダイハツ)
 西に約1.2km進み、『手の際』交差点を左折(セブンイレブン、天野実業が目印)
 県道64号線を寄島方面に約4km進み、ロータリー式の交差点を超え、直進
 そのまま直進し、「グループホームいるかの家」の先が会場

12月21日(日) 第23回全日本高等学校ゼロハンカー大会 タイムスケジュール(案)

7:00	ゲートオープン	
7:30	受付・車検	60分
8:30		
8:00	フリー走行 走行時間5分間3セット	30分
8:30		
8:55	参加者全員、本部テント前へ集合	
9:00	開会式	30分
9:30	ドライバーズ・ミーティング(ドライバー・引率教員)	15分
9:45	オフィシャル・ミーティング(生徒オフィシャル・教員オフィシャル)	
9:55	一次予選「ドラッグレース」 ドラッグレース用直線コース(ゼッケン順 2台ずつ) タイム計測実施	50分
10:45	スタート時:学校名・車両名・ドライバー名アナウンス	
11:00	二次予選(2周レース) 予選タイムを参考に組み合わせ	45分
11:45	スタート・シグナル使用 1位・2位→三次予選へ	
12:00	敗者復活戦(2周レース) 予選タイムを参考に組み合わせ 1位・2位→三次予選へ	30分
12:30	スタート・シグナル使用	
12:30	昼食 おかやま山陽高校 調理科による「ラーメン」提供 デモンストレーション走行	20分
12:50	三次予選(2周レース・10ヒート) 1位→決勝へ(10台)	40分
13:30	スタート・シグナル使用	
13:30	決勝進出者ミーティング 「24分耐久レースについて」	20分
13:50	①ドライバー・引率教員 ②コースオフィシャル教員(ピットタイム計測)	
13:50	決勝車両コース内整列(三次予選を勝ち上がった10台:一次予選の計測タイム順)	10分
14:00	決勝(24分耐久レース) スタートは1列(タイム順)に整列し、先導車誘導でローリングスタート レース中、1回は必ずピットストップ30秒間をすること	30分
14:30	24分経過後、3分以内にゴールラインを通過できなければ、リタイヤとなる	
14:30	後車検(排気量測定) (決勝上位3台 排気量違反のあった場合は、順位繰り上げで後車検)	30分
15:00	パイロン片付け 表彰・閉会式準備	
15:00	閉会式・表彰式	20分

※上記タイムスケジュールは変更することがありますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。



お問合せ 全日本高等学校ゼロハンカー大会事務局 主管校 おかやま山陽高等学校 自動車科
〒719-0252 岡山県浅口市鴨方町六条院中2069 TEL 0865-44-3100 FAX 0865-44-6626